石桜同窓会報

石桜同窓会
盛岡市立高等学校
岩手県立盛岡北高等学校
印刷山口印刷(株)

平成22年度　石桜同窓会

通常総会終わる

平成22年度石桜同窓会通常総会は、10月22日(金)午後6時から盛岡市駅前通のホテルメトロポリタン盛岡本館で開催された。総会にはおよそ60名が出席し、会務報告や決算・予算が審議され、原案通り可決された。

総会は、事務局の川村康二先生(新24回)の司会で進められ、冒頭では小枝指同窓会長が登壇し、次のように挨拶した。

「本日はお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。日ごろから同窓会事業運営に対し暖かいご理解とご協力、ご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

本日は、今年の3月で退任なさいました菊地前学校長(新10回)をはじめ、仙台石桜同窓会から小林会長(新3回)、東京石桜同窓会から牧原副会長(新26回)、また顧問の先生方にもお越しいただき、花を添えていただいております。

ご周知のように、今年も母校の生徒が大活躍いたしました。今年8月の第38回全国高文祭において、将棋部門個人戦で優勝した中川慧悟君をはじめとする囲碁将棋部、ロケット甲子園で優勝し、来年にはアメリカの大会に出場する自然科学部など、後輩たちの活躍は私たちにとっても励みになり、大変うれしいことです。本日は、そのうちの10人ほどを招待しており、懇親会でその活躍を表彰する場を設けておりますので、どうぞ暖かいエールをよろしくお願いいたします。」

次に、来賓を代表し、前校長で現岩手奨学会常務理事の菊地治雄さん(新10回)より祝辞を賜った。「長い間みなさんにご支援いただき、今年の3月、無事に退職の日を迎えることができた。これからは一同窓生として、同窓会のいろいろな活動に関わっていきたい」との言葉に、大きな拍手が沸き起こった。

議長は、事務局の一任により、中村一君(新19回)を選出

議事は
(一)平成21年度　事業報告
(二)平成21年度　一般会計・特別会計・クラブ強化育成基金決算報告・監査報告
(三)平成22年度　事業計画案審議　監査報告(新13回)小苅米　淳一氏
(四)平成22年度　一般会計・特別会計・クラブ強化育成基金予算案審議
(五)役員改選
の順で進行され、それぞれ拍手で承認された。

なお、役員改選については、満場一致で現役員が再選された。

さらに、報告事項として
(一)賛助会費について
(二)ホームページについて
(三)同窓会活動活性化について
(四)その他(会報発行について)
の順で報告があった。

このうち同窓会ホームページの今後の展開について、赤澤征夫(新9回、学年理事・ホームページ委員会事務局長)より説明があり、事業運営のための広告バナーへの協力や、ホームページに掲載する同期会開催等の情報提供の呼びかけを行った。また、内容や更新の頻度について「ほかとくらべても、当同窓会ホームページがナンバーワンではないか」と自信をのぞかせた。さらに、インターネットをテレビで閲覧する時代の到来にふれ、「パソコンの操作が苦手で、今まで当ホームページを見なかった人も、気軽に閲覧できるようになるのでは」と、今後いっそうの内容充実を図りたいと述べた。

小枝指会長の挨拶

総会の様子

懇親会は、新10・20・30回生が幹事で運営

今年は二〇一〇年にちなみ、新10回生の佐々木利之君、新20回生の佐藤省次君、新30回生の吉田直弘君が運営を担当。新10回生の佐々木君が開会の挨拶をおこなった。続いて小枝指同窓会会長が「今年もみなさんのご協力ご支援のおかげで、同窓会を運営することができ、感謝いたします。今日は年に一度の懇親会ですので、旧交を暖めていただき、大いに楽しんでください」と挨拶をし、次に村井校長が祝辞を述べられた。

村井校長の挨拶

続いて新20回生の佐藤君の進行で、囲碁将棋部、自然科学部の表彰がおこなわれた。囲碁将棋部の中川慧悟君は「OBのみなさんの応援や支えのおかげで、今年もいい結果を残す事ができました。今後とも頑張っていきますので、よろしくお願いします」、自然科学部の山本"二郎君は「来年も全国大会、全米大会に向け、頑張っていきたいと思います」と述べると、会場は大きな拍手で後輩たちの活躍を祝福した。

その後、菊地前校長により乾杯の音頭がとられると、参加者たちは久しぶりの再会を喜び、親交を深めていた。また、来賓である仙台石桜同窓会の小林会長、東京石桜同窓会の牧原副会長が壇上にあがり、それぞれ挨拶の言葉を述べた。

アトラクションでは、新23回生のメンバーを中心に結成したバンド「Wednesday」が、プロのドラマーとして活躍している河野直弘君(新45回生)をスペシャルゲストに、スタンダードから歌謡曲まで幅広いジャンルの演奏をおこなった。時にはバンドからの指名により小枝指会長をはじめ出席者が飛び入りで歌ったり、全員で唱和するなど、会場は大いに盛り上がった。

最後は新30回生の吉田君の音頭で校歌斉唱をおこない、懇親会は割れんばかりの拍手とともに締めくくられた。

将棋部と自然科学部の表彰

校歌斉唱

創立者三田義正翁生誕百五十周年を迎える

石桜同窓会会長　小枝指　博

敬服するのみであります。

母校では記念品として、すくすく育って欲しいとの願いを込めて、樹木をあしらった「手拭い」を全校生に贈呈されましたが、同窓会といたしましても三〇〇本譲り受けて総会や東京石桜同窓会等お招きの折に配布させていただいております。

「石桜精神」「質実剛健」の理想と並んで、校規三大綱領の「積慶」「重暉」「養生」を校訓とした建学の精神は変わることなく今日まで培われ、やがて創立九〇周年を迎えようとしております。

今春、四十五年間の永きに亘り後輩の生徒指導に当たられた第八代学校長菊地治雄先生がご退任され後任として村井伸吾校長先生に引き継がれました。建学の精神「石桜精神」を踏まえ大な業績に対しただただ誠しもが故郷を自負したいと願い、故郷の名が誰にも知れわたって貰いたいと願います。

有名度が高ければ高いほど私達の自負は大きいものです。わが母校、岩手中・高等学校は私達の故郷であります。近年における母校の活躍ぶりには目覚しいものがあり、同窓生をはじめ多くの県民に誇りと勇気を与えてくれております。

私学ならではの国家社会に有為な人材育成をめざして創立された故郷の偉人、三田義正翁の御生誕一五〇周年を迎えることとなりました。翁の偉

ます。一万五千有余数える同窓生は実業社会に、政治社会に、行政機関に、医学界に、宗教界に、各種学界に、文化等々、各般に亘り目覚しい活躍を展開しておられ、母校存在の意義を高揚していることは、誠にご慶の至りであります。

育成し、新たな伝統づくりにご尽力されてきたことに対し深く敬意を表し感謝申し上げる次第であります。

この度は、二〇一〇年秋の叙勲で、生徒の力を引き出す、特色ある学校づくりにご尽力したこと等により、瑞宝小綬章の栄に浴され領の「積慶」「重暉」「養生」を「神と祖国と人道の三つに仕えて怠らず」と作詞された土井晩翠先生は、仙台市立立町小学校のご出身とのことで、十年前に「土井晩翠先生が作詞した校歌を一緒に歌いましょう会」実行委員会が結成され、隔年ごとに先生の命日である10月19日前後の日曜日に母校に於いて開催。互いの校歌を歌い伝えるとともに、友好を深めあうことが主旨とのこと。仙台石桜同窓会では第3回より仙台支部挙げて取りくんで参ったそうです。今回は本部にも要請がありまして、去る10月17日(日)第5回開催の会に有志合い集い参加し、母校の校歌を熱唱してまいりました。学校開設の土井晩翠記念室には各校のカセットテープやCDなども展示されており、車中練習の為持参したCDを寄贈致して参りました。次回開催時には、母校にも声掛けをして是非大勢で参加したいものです。

年は常に流れ、新しい後輩は社会へスタートして参ります。同窓生各位には良き先輩として愛情と威厳のある指導で、母校発展の原動力となっていただきたいと思います。

県内外の支部、各位のご尽力と団結により益々母校に光輝有らしめるようお願い申しあげご挨拶とさせていただきます。

平成21年度クラブ強化育成基金決算書

収入の部

科目	決算額	備考
繰越金	6,294,696	
利子	1,997	
一般会計より繰入金	700,000	
合計	6,996,693	

支出の部

科目	決算額	備考
教育後援会補助	400,000	
部活動褒賞	565,756	褒賞金、表彰楯、図書カード、賞状
合計	965,756	

繰越金　6,030,937円

平成21年度　石桜同窓会　事業報告

平成21年8月29日	仙台石桜同窓会総会	於　仙台ガーデンパレス 小枝指会長・赤澤理事・菊地校長出席
平成21年9月4日	ホームページ委員会	於　岩手高等学校校長室
平成21年9月17日	常任理事会・監査会	於　きのえね支店
平成21年10月2日	理事会	於　きのえね支店
平成21年10月23日	同窓会総会	於　ホテルメトロポリタン盛岡
平成21年10月24日	東京石桜同窓のつどい 小枝指会長・赤澤理事・菊地校長・中山教諭　出席	於　アルカディア市ヶ谷
平成21年12月	同窓会報発行	
平成22年3月11日	雫石石桜同窓会	於雫石公民館 小枝指会長・菊地校長　出席
平成22年4月23日	菊地校長退職慰労の宴	於　京極
平成22年5月21日	常任理事会	於　初駒
平成22年6月10日～8月20日	三田循司展	於　賢治啄木青春館
平成22年7月23日	理事会	於　初駒

平成22年度　石桜同窓会事業計画

平成22年8月20日	三役会	於　初駒
平成22年9月24日	常任理事会・監査会	於　きのえね支店
平成22年10月1日	理事会	於　きのえね支店
平成22年10月22日	同窓会総会	於　ホテルメトロポリタン盛岡
平成22年12月	同窓会報発行予定	
平成23年　月	理事会	於

平成22年度予算

Ⅰ　一般会計

収入の部

科目	本年度予算額	平成21年度予算額
会費	1,246,000	1,190,000
入会金	890,000	850,000
総会会券代	350,000	350,000
賛助会費	1,100,000	1,000,000
利子	200	1,000
ホームページ広告代	500,000	—
雑収入	330,781	261,052
繰越金	683,019	1,247,948
合計	5,100,000	4,900,000

支出の部

科目	本年度予算額	平成21年度予算額
会議費	950,000	850,000
石桜会補助費	400,000	400,000
印刷費	450,000	550,000
慶弔費	100,000	100,000
通信費	790,000	700,000
事務費	5,000	5,000
事務手当	60,000	60,000
雑費	640,000	350,000
ホームページ運営費	700,000	200,000
特別会計への繰出金	300,000	500,000
クラブ強化育成基金への繰出金	700,000	700,000
予備費	5,000	485,000
合計	5,100,000	4,900,000

Ⅱ　特別会計

収入の部

科目	本年度予算額	平成21年度予算額
一般会計より繰入金	300,000	500,000
利子	500	1,000
繰越金	1,528,571	1,028,238
合計	1,829,071	1,529,238

支出の部

科目	本年度予算額	平成21年度予算額
名簿印刷	—	—
合計	0	0

平成21年度決算報告書

Ⅰ　一般会計

収入の部

科目	決算額	平成21年度予算額
会費	1,190,000	1,190,000
入会金	850,000	850,000
総会会券代	395,000	350,000
賛助会費	1,566,080	1,000,000
利子	164	1,000
ホームページ広告代	296,000	—
雑収入	271,320	261,052
繰越金	1,247,948	1,247,948
合計	5,816,512	4,900,000

支出の部

科目	決算額	平成21年度予算額
会議費	973,649	850,000
石桜会補助費	400,000	400,000
印刷費	430,181	550,000
慶弔費	90,000	100,000
通信費	784,050	700,000
事務費	2,760	5,000
事務手当	60,000	60,000
雑費	632,311	350,000
ホームページ運営費	560,542	200,000
特別会計への繰出金	500,000	500,000
クラブ強化育成基金への繰出金	700,000	700,000
予備費	0	485,000
合計	5,133,493	4,900,000

Ⅱ　特別会計

収入の部

科目	決算額	平成21年度予算額
一般会計より繰入金	500,000	500,000
利子	333	1,000
繰越金	1,028,238	1,028,238
合計	1,528,571	1,529,238

支出の部

科目	決算額	平成21年度予算額
名簿印刷	—	—
合計	0	0

少子化による生徒数減少に伴い、卒業時の終身会費のみでは同窓会の運営には困難が予想されることからスタートした賛助会員制度であるが、10月22日に行われた平成22年度岩手中高等学校石桜同窓会総会における会計報告は次の通りである。

❖

本年も、この会報とともに、賛助会費振り込み用紙を同封いたしましたので、なにとぞよろしくお願いいたします。

〈石桜同窓会賛助会費制度〉

(一) 一口2、000円として同窓生から賛助会員を募る。

(二) 一回の醵金が100口の場合および歴年累積100口に及んだ場合、石桜同窓会賛助フェローとして石桜フェロー賞を贈呈する。

A　毎年末に発行の石桜同窓会報を会員に送付する際、送金振り込み用紙を同封する。

B　さまざまな同窓会の会合の機会において、醵金を募る。

石桜フェロー賞受賞者

・個人
- 藤根　俊一（新29回）
- 加藤　惠（新4回）
- 八重樫　金十郎（旧11回）
- 中村　一雄（旧15回）
- 滝川　忠夫（旧13回）
- 村上　照五郎（新2回）
- 下河原　善嗣郎（新5回）
- 足澤　至（旧15回）
- 櫻井　勇（中2回）
- 大森　敬一郎（中4回）
- 竹花　國夫（新8回）
- 東野　久松（新7回）
- 佐藤　忠男（新12回）

・団体
- 第5期会（新5回）

石桜同窓会　賛助会費

6年目もありがとうございました。
～今回は1,602,000円となりました～

(個人名)	(金額)	(回生)
佐々木秀夫	10,000	旧4
横田孝	6,000	旧4
下斗米昌一	2,000	旧8
中村達雄	2,000	旧9
村岡瑛	4,000	旧9
寺井常雄	10,000	旧10
佐藤正吉	4,000	旧10
久保澤稔	2,000	旧10
佐々木宗七郎	10,000	旧10
松本滋夫	2,000	旧11
大崎正夫	2,000	旧11
千葉昌二	4,000	旧12
大志田武	4,000	旧12
東根清藏	4,000	旧12
駒井幸藏	6,000	旧12
赤坂祐三	20,000	旧13
小島左京	4,000	旧13
吉島一郎	4,000	旧13
名久井弥七	2,000	旧13
鱒沢昇	6,000	旧13
鈴木廣治	6,000	旧13
小笠原武志	10,000	旧13
渕沢良知	10,000	旧13
藤原仁左衛門	4,000	旧14
清水端金吉	4,000	旧14
佐藤浩	2,000	旧14
湯澤一晃	10,000	旧15
村井和夫	4,000	旧15
金澤源一	10,000	旧15
中村一雄	20,000	旧15
北口吉守	10,000	旧15
猪狩康三	2,000	旧16
鷹觜達衛	5,000	旧16
福士俊朗	6,000	旧16
和井内和夫	2,000	旧17
赤坂等	4,000	旧17
藤本徳文	2,000	旧17
鈴木祐八郎	10,000	旧17後
足澤實	6,000	旧17後
佐久間和夫	2,000	旧18
田中利昌	40,000	旧18
駒ヶ嶺重利	2,000	旧18
大銑地久男	2,000	旧18
大釜賢三	2,000	旧18
佐々木啓祐	4,000	旧18
佐々木昭徳	4,000	旧18
村井孝一	2,000	1
赤川義英	2,000	1
有原隆司	10,000	1
高橋啓介	2,000	1
佐々木哲孝	2,000	1
小笠原芳雄	5,000	1
野村誠	2,000	1
中村忠	2,000	2
阿部賢	2,000	2
池野和夫	4,000	2
兼田良一	4,000	2
藤村敏	2,000	2
佐藤克巳	2,000	2
小田島昭夫	2,000	3
遠畑勇	2,000	3
近藤義彦	2,000	3
五日市三郎	2,000	3
木村榮作	2,000	3
高橋利男	2,000	3
小泉泰助	2,000	3
吉田光政	2,000	3
小田島勗	2,000	3
伊藤寛康	4,000	4
高橋久男	2,000	4
井上正美	2,000	4
藤原英治	2,000	4
照井武彦	2,000	4
高山一元	20,000	4
福田昇	10,000	4
大橋義平	2,000	4
千葉雅史	2,000	4
上田勝彦	2,000	4
藤澤實	2,000	4
阿部隆一	2,000	4
八重樫昌宏	2,000	4
中山利彦	4,000	5
泉沢利之	2,000	5
藤原幸三	2,000	5
渡邊真由美	4,000	5
藤澤祐三	6,000	5
角掛武	2,000	5
工藤義夫	2,000	5
細屋直躬	2,000	5
西島康之	2,000	5
高田裕功	10,000	5
佐々木美隆	10,000	5
中野嗣久	10,000	5
城守英彦	2,000	6
浦田隆	2,000	6
大坪光生	10,000	6
宇夫方康夫	2,000	6
細川磐夫	2,000	6
上斗米隆夫	2,000	6
及川省治	2,000	6
藤田雄平	10,000	6
田鎖康誠	2,000	6
坂下陽市	2,000	6
有原正巳	10,000	6
蒲澤忠仁	2,000	6
阿部喜光	2,000	6
小川義一	2,000	6
山本充夫	24,000	7
栗栖保之助	4,000	7
菅森幸一	4,000	7
伊藤一也	10,000	7
中西英夫	2,000	7
熱海宏信	10,000	7
藤村隆	2,000	7
坂本義邦	10,000	7
立花宏章	2,000	7
阿部秀充	2,000	7
野崎弘志	2,000	7
田沼斉	10,000	7
吉田榮一	2,000	7
佐々木敦	6,000	7
大川繁	2,000	8
片岡充	2,000	8
兼平甚三郎	2,000	8
竹花國夫	10,000	8
福井憲男	2,000	8
根澤守彦	2,000	8
熊谷泰彦	2,000	9
磯崎公一	2,000	9
工藤強一	2,000	9
府金利廣	6,000	9
小林泰宏	30,000	9
佐々木英雄	10,000	9
高橋純一	2,000	9
高橋正敏	2,000	9
赤澤征夫	2,000	9
大田原弘明	2,000	9
阿部信行	2,000	10
細野康人	10,000	10
須貝雅宏	10,000	10
松岡直彦	6,000	10
三浦学	10,000	10
中村實	20,000	10
吉田亨	2,000	11
熊谷正利	2,000	11
伊藤完治	4,000	11
小野寺峯雄	2,000	11
馬場英彦	2,000	11
古舘和男	2,000	11
田中三雄	2,000	11
横坂克衛	2,000	11
柴田義春	4,000	11
玉山哲史	2,000	11
小原幸司	2,000	11
佐々木嘉七	10,000	12
猿舘宣明	2,000	12
栗谷川親	2,000	12
佐藤忠男	100,000	12
長澤佳彦	4,000	12
横沢昭平	10,000	12
小原紀彰	10,000	13
下田淳	2,000	13
菊地輝之	2,000	13
斉藤富夫	2,000	13
菊池軍次	10,000	13
里見一栄	3,000	13
福島裕也	2,000	13
木村勝一	2,000	13
矢羽々俊雄	10,000	13
兼平重一郎	2,000	13
小苅米淳一	6,000	13
菅野幸	10,000	13
荒川誠輝	4,000	14
佐藤弘吉	6,000	14
立花鐵夫	2,000	14
瀬川徹夫	10,000	14
矢澤俊夫	4,000	14
種市豊	2,000	15
似内裕	6,000	15
細川市男	5,000	15
道又和人	2,000	15
栃内秀彦	10,000	15
藤倉健吾	2,000	15
小田島隆三	2,000	15
栃内秀彦	10,000	15
越戸國雄	2,000	16
佐藤正	2,000	16
山本幸一	10,000	16
吉田建	2,000	16
今泉博雄	10,000	16
辺見和俊	4,000	16
峠徳美	4,000	16
藤根弘康	2,000	17
山田康平	2,000	17
小笠原常之	10,000	17
伊藤勢至	2,000	17
照井駿一	6,000	17
高橋隆夫	2,000	17
佐藤孝	2,000	17
藤尾東泉	10,000	17
泉田栄一	2,000	17
工藤和夫	20,000	18
宮博	2,000	18
越戸輝雄	10,000	18
日野岳唯照	6,000	18
佐藤啓二郎	2,000	18
斉藤誠	2,000	18
伊藤喜典	2,000	18
村井紀之	20,000	18
田村雄孝	2,000	18
立花等	10,000	18
高橋克彦	2,000	19
浦田栄治	2,000	19
藤澤誠吉	2,000	19
菊地英記	4,000	19
今泉利雄	4,000	19
金沢光郎	2,000	20
関口知男	10,000	20
細川邦雄	2,000	20
花井裕一	2,000	20
池田健	10,000	20
大志田文一	10,000	20
明戸均	6,000	21
吉田行夫	4,000	21
高松三郎	10,000	21
阿部寛	2,000	21
明戸均	10,000	21
佐藤伸一	4,000	21
遠藤哲雄	2,000	21
早坂廣志	2,000	21
栃内秀士	10,000	21
阿部直行	2,000	22
清川俊郎	2,000	22
佐々木哲也	2,000	23
村上修	10,000	23
伊藤賢二	2,000	23
千田幸司	2,000	23
橋本晃	4,000	24
川村市宜	2,000	24
桜井保典	2,000	24
笹井峰雄	2,000	24
楢山直樹	2,000	24
晴山弘己	10,000	25
向井田隆生	2,000	25
高橋勝行	2,000	25
吉田祐一	2,000	25
佐々木正博	6,000	25
三浦由太	6,000	26
沼田陽一	2,000	26
金谷純一	2,000	27
足澤匡	2,000	27
菱谷和彦	2,000	28
藤澤透	2,000	30
八重樫龍介	10,000	30
谷藤雅俊	4,000	30
晴山祥悦	2,000	31
金谷茂	10,000	31
山地秀東	2,000	31
狐崎一彦	2,000	31
阿部雅仁	2,000	32
八重樫道晴	2,000	32
多田健一	4,000	33
下斗米宗智	10,000	33
藤倉優幸	2,000	34
舘澤一史	6,000	35
竹花國信	5,000	36
柏崎克人	2,000	36
小笠原千永	2,000	37
金子眞也	50,000	37
富岡靖博	4,000	37
工藤真悦	2,000	38
大原規	2,000	40
熊谷哲也	2,000	40
駒井茂	2,000	41
竹花純司	5,000	41
高橋一行	2,000	42
千葉基	2,000	43
儀俄雅生	2,000	43
小林仁郎	2,000	46
越戸章式	4,000	47
高橋大希	6,000	47
吉田裕介	2,000	48
宮崎力	10,000	49
永田睦	2,000	49
大橋潤一	2,000	50
大坪克彰	2,000	50
日影直人	2,000	51
客本正太郎	2,000	52
本多真之	2,000	52
山本藤幸	2,000	53
田村孝志	2,000	53
阿部史日呼	2,000	53
高橋亨	2,000	53
中野泰正	6,000	54
奥良之	2,000	54
日野岳史乗	2,000	55
岩間昭造	2,000	55
川井倫識	2,000	55
林秀峰	2,000	56
宮澤遼平	2,000	56
日野岳唯人	2,000	57
齋藤大拙	2,000	57
奥直之	2,000	57
浦辺賢太郎	4,000	59
相澤賢宏	2,000	59
吉田大祐	2,000	59
小松大樹	2,000	60
鎌田俊平	2,000	61
上野駿	2,000	61
相澤宏	2,000	61
中村公紀	2,000	61
佐藤伸夫	4,000	中学2
櫻井勇	4,000	中学2
菅原守男	2,000	中学3
達増崔夫	2,000	中学4
大森敬一郎	2,000	中学4
和田博泰	4,000	中学6
池野正幸	2,000	中学8

(団体名)	(金額)
日大石櫻会	20,000

小計	1,602,000
手数料	35,920
合計	1,566,080

（2009/8/1 ～ 2010/7/31）

賛助会費総合計　12,629,485
（～ 2010/7/31）

同窓会名簿、発売中

同窓会名簿を販売中です。申し込みは会報に同封した振り込み用紙をご利用いただくと便利です。

●同窓会名簿（1冊4000円）／申し込み・問い合わせは同窓会事務局まで

母校ホームページとあわせ、同窓会のホームページも開設中

●岩手高等学校ホームページアドレス
http://iwate-jh.ed.jp/

●岩手高等学校ブログアドレス
http://blog.livedoor.jp/iwate_hs/

●石桜同窓会ホームページアドレス
http://www.sekiou-ob.com/

同窓会ホームページに関するお問い合せはこちらまで
info@sekiou-ob.com

また、同窓会HPへの同期会情報、同窓企業広告募集中。詳細はHPをご覧下さい。

不動産仲介業
Links 有限会社リンクス
桑原伸行（新22回生）
〒020-0173　岩手郡滝沢村滝沢字葉の木沢山405-22
TEL019-694-1611　FAX019-694-1610

割烹
「こう弥」
盛岡市菜園2の8の36
TEL (623) 2622

スタジオ撮影・各種スピード写真・各種カメラ
カラー・D.P.E・記念出張撮影
フォトMORIOKA
池ノ谷忠正
材木町信用金庫向　TEL (622) 7457

大小御宴会・御商談等に御利用下さい。
御食事処
きのえね支店
盛岡市本町通1丁目17-6
電話 622-9346

メンズファッション&スクールウェア
㈱佐藤被服
本社　盛岡市肴町　TEL ㈹(624) 3797
営業所　紫波郡矢巾町流通センター　TEL ㈹(637) 2661

平成22年度　クラブ活動成績

■テニス部

●第５回岩手県民テニス大会（少年の部）
優勝・準優勝　ベスト８　・ベスト16
千葉国体出場決定

●東北高校選手権　ダブルス　優勝＆準優勝

●第62回　岩手県高等学校総合体育大会
テニス男子　団　体　優勝
シングルス　優勝
ダブルス　優勝

■ソフトテニス部

●第37回東北総合体育大会
ソフトテニス競技　岩手県少年男子　準優勝
苅宿・加藤　ペア
岩手県監督　東　幸男（本校教諭）
千葉国体出場決定

●第62回　岩手県高等学校総合体育大会
ソフトテニス競技　個人戦　優勝
苅宿・加藤組　圧勝Ｖ
沖縄インターハイ出場決定

●第4回東北春季選手権大会　団体準優勝
（昨年度　県新人大会準優勝、県室内大会優勝のため選出された大会）

●第20回岩手県ジュニア選手権大会　優勝
苅宿陽希（黒石野）・加藤　樹（下小路）　組
（札幌市で行われるハイスクールジャパンカップに出場。加藤は今大会２連覇）

■柔道部

●第62回　岩手県高等学校総合体育大会
個人100kg級　第３位
団体　ベスト16

■山岳部

●第62回　岩手県高等学校総合体育大会
登山競技　優勝
沖縄インターハイ出場決定

■サッカー部

第62回　岩手県高等学校総合体育大会
サッカー競技　ベスト16

■自然科学部

●能代宇宙イベント　第２回ロケット甲子園　優勝!!
2011年５月アメリカ世界大会への出場決定!!
世界100校と対決！

■囲碁将棋部

●第23回全国高校将棋竜王戦　中川　慧梧　優勝！
Ｖ2達成!!

●第34回全国高等学校総合文化祭
将棋部門　男子個人戦　優勝！　中川慧梧
2010全国制覇!! この優勝により「高校将棋全冠制覇」という史上初の偉業を達成しました!!!!

●第34回全国高等学校総合文化祭
将棋部門　男子団体戦
準優勝（西田明斗・澤口諒允・中川滉生）
2010全国第２位!!

●世界アマチュア囲碁選手権　県大会
岩手中学　松村　光六段
最年少Ｖ（９月に東京で開催される日本代表決定戦に出場）

●第32回岩手県高等学校将棋大会
男子個人戦　優勝　中川慧梧
２位　澤口諒允
３位　西田明斗
４位　田岡拓也
男子団体戦　優勝　岩手Ａ1
（西田明斗、中川滉生、澤口諒允）
２位　岩手Ａ2
（細井克哉、小野内一八、田岡拓也）
全国高校将棋選手権、全国高総文祭（宮崎県）へ

●第34回全国高等学校囲碁選手権岩手県大会
男子個人戦　準優勝　木村祐太郎
男子団体戦　優勝　木村祐太郎
畠山　雄太
千葉　潔孝
全国高校囲碁選手権、全国高総文祭（宮崎県）へ

●第13回全国学生将棋選手権
個人戦　優勝　中川慧梧　※大会史上初２連覇

●第23回岩手県アマチュア将棋竜王戦
優勝　中川慧梧　全国大会へ

●第64回岩手県アマチュア将棋名人戦
優勝　中川慧梧　全国大会（山形県天童市）へ

●第39回全国支部将棋対抗戦東日本大会
名人戦の部　優勝　中川慧梧　東西決戦へ

●第32回全国アマチュア将棋レーティング選手権
準優勝　中川慧梧

■映画部

●平成22年度NHK杯全国中学放送コンテスト岩手県大会
朗読部門　第１位　岩手中学校　藤田　航輔

●第34回全国高文祭の「放送部門」へ出場決定

2011年度　生徒募集概要

岩手中学校

募集コース	中高一貫ＥＸコース　20名
出願資格	平成23年３月　小学校卒業見込みの男子
出願条件	本校卒業後は引き続き岩手高等学校に進学を希望する児童
出願期間	平成22年12月24日(金)～12月25日(土) 平成23年１月４日(火)～１月６日(木) 午前９時～午後４時
受験料	1,000円（現金または郵便為替）
選抜方法	学力試験（国語・社会・算数・理科）、面接、調査書の総合判定
試験日	平成23年１月８日(土)
合格発表	平成23年１月12日(水) 午後４時本校校舎に掲示します。
入学手続	平成23年１月18日(火)～１月21日(金) 午前９時～午後４時
特典	入学金・授業料無料、在学成績特待制度、学業・クラブ奨学金制度

（注）入学辞退者が出て欠員が生じた場合は、不合格者の中から追加合格の通知を行うことがあります。
1．追加合格者に対して、平成23年１月22日(土)から１月25日(火)までの間に電話により連絡します。
2．追加合格者の校舎掲示は行いません。
3．指定期日までに入学手続きを完了しなかった場合は、入学を辞退したものとして取り扱います。
4．追加合格確認の問い合わせはご遠慮ください。

懐石料理とわんこそばの店
初　はつこま　駒
盛岡市八幡町10-21　電　話　019-651-7184
（盛岡八幡宮前）

特定建設業
Z　株式会社　下河原組
代表取締役会長　下河原善嗣郎（新５回生）　〒020-0403
代表取締役社長　下河原　大希（新36回生）　岩手県盛岡市乙部４地割６番地１
常務取締役　下河原　宏記（新39回生）　TEL 696-2255
FAX 696-2360

平成23年度　生徒募集概要

岩手高等学校

選抜種類（専願/併願）	調査書推薦入試（併願）	クラブ推薦入試（専願）	一般推薦入試（専願）	前期入試（併願）	後期入試（専願）
募集定員	普通科（特別進学コース・総合進学コース）200名				

募集コース	特別進学	総合進学		特別進学 総合進学	総合進学
出願資格・条件	(1) 平成23年３月卒業見込みの男子 (2) 中学校長が推薦する生徒 (3) ３年次の５教科評定平均が3.8以上の生徒	(1) 平成23年３月卒業見込みの男子 (2) 本校顧問が中学校顧問を通して本人に連絡を取り、その上で中学校長が推薦する生徒 (3) 人物、生活態度良好にして、学業もおおむね平均的であり、2・3年次の全教科評定に「１」がない生徒	(1) 平成23年３月卒業見込みの男子 (2) 中学校長が推薦する生徒 (3) 人物、生活態度良好にして、学業もおおむね平均的であり、2・3年次の全教科評定に「１」がない生徒	平成22年３月卒業または平成23年３月卒業見込みの男子	(1) 平成22年３月卒業または平成23年３月卒業見込みの男子 (2) 本校を第一志望とし、合格後は入学が確約できる生徒
選抜方法	・調査書 ・中学校長推薦書	・調査書 ・中学校長推薦書 ・面接	・調査書 ・中学校長推薦書 ・面接	・学力試験（国・数・社・英・理） ・調査書	・学力試験（国・数・英） ・調査書 ・面接
複数受験	可	不可		可	
受験料	10,000円（複数受験する場合でも一回だけの納入です。）				

出願期間	1月7日(金)	1月11日(火)			1月18日(火)～1月24日(月)（土・日曜日は除く）
試験日	課さない	1月13日(木) 本校会場			1月25日(火) 本校会場
合格発表	1月11日(火) 合格通知書は、中学校長を通して本人にお渡しします。	1月17日(月) 午後４時本校校舎に掲示・ホームページ発表 （合格通知書は、中学校長を通して本人にお渡しします。）			1月26日(水)
入学手続 公立発表前		2/5(土)～2/6(日) 入学金全額免除	2/5(土)～2/6(日) 110,000円		2/5(土)～2/6(日) 110,000円
入学手続 公立発表後	3/19(土)～3/20(日) 110,000円			3/19(土)～3/20(日) 110,000円	

優遇制度 学業特待	◆D特待 ３年次の５教科評定平均が4.5以上で、品行方正な者	なし	◆D特待 ３年次の５教科評定平均が4.5以上で、品行方正な者 ◆S特待 ３年次の全教科評定平均が3.5以上の上位５名	◆D特待 学力試験の得点平均が85点以上で、品行方正な者	◆D特待 ３年次の５教科評定平均が4.5以上で、品行方正な者
【特待の特典】	D特待：入学金全額免除に加え、年間授業料に相当する奨学金を支給（学年更新）します。 S特待：制服（夏物、冬物）を支給します。				
クラブ特待	なし	◆A・B・C特待 中学でのクラブ活動の成績が優秀で、品行方正な者	なし		
【特待の特典】	A特待：入学金全額免除に加え、年間授業料に相当する奨学金を支給（３年間）します。 B特待：入学金全額免除に加え、年間授業料の半額に相当する奨学金を支給（３年間）します。 C特待：入学金全額免除します。				
家族特待	◆E特待　家族(父・兄)に卒業生や在校生がいる入学者は、入学金を半額免除します。（他の優遇制度で入学金免除となった者を除く）				
在学生奨学金	◆本校入学後に学業優秀、品行方正で、毎学年末平均85点以上の成績を収めた者は、選考の上、規定の奨学金を授与します。 ◆本校入学後にクラブ活動で、東北大会、全国大会において優秀な成績を収めた者は、毎学年末選考の上、規定の奨学金を授与します。				

※二期試験（３月18日出願、３月22日試験）の詳細については平成23年度生徒募集要項をご覧ください。

支部だより

■東京石桜同窓会つどい

10月30日(土)ライオン銀座クラシックホールにおいて、平成22年度東京石桜同窓会つどいが、台風の近づくなか、関東地方在住の会員の皆様と開催致しました。

来賓として、三田理事長、村井校長、和田教頭、石桜同窓会小枝指会長、川村先生が出席して頂きました。

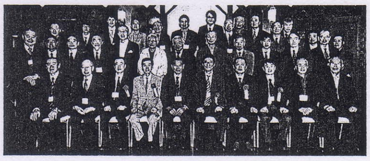
人数は、少なかったのですが、元気な会員の皆様が、それぞれの方達に接し、新たな活力を頂いた様でした。

講演は瀬川武(新12回生)の歌曲で、すばらしい歌唱に感動しました。

来年も会員の皆様、友人、知人をお誘いして、出席して頂けます様にお願い致します。

又、残念ながら欠席された方達も、来年こそは出席して頂きたいものです。

(新13回生　菅野　幸)



■仙台石桜同窓会

第14回仙台石桜同窓会総会は去る9月4日(土)午後6時より仙台ガーデンパレスに於いて開催された。今回は新校長の村井伸吾先生、小枝指博会長をお招きし、話題提供を佐々木甚一元弘前大学医学部教授(新11回)にお願いした。

小林陵二会長の開会挨拶に始まり、村井校長の祝辞と母校近況報告、事務局より会務及び会計報告、監査役よりの会計監査報告と滞りなく進行。続いて佐々木氏により「黒にんにくとシジミ」と題して独自研究の一端が披露された。内容は氏の専門領域免疫、腫瘍学からアプローチを試みる「黒にんにく」の抗がん作用効果(動物実験)と「シジミ貝殻」による肝機能への改善効果の研究報告である。高齢化・健康志向が高まる昨今、メディアでも取上げられたこの話題は会衆の大いなる関心を喚び、今後の研究進展が期待される。

全員記念撮影の後、懇親会に移り、小枝指会長の挨拶と乾杯の発声により賑々しく宴に入る。今回初参加の照井逸郎氏(新10回)、中村彰氏(新21回)、高橋勝行氏(新25回)、三浦伊織氏(新62回)による自己紹介などで盛上り、会員相互の交流がはかられた。

また10月17日「第5回土井晩翠先生が作詞した校歌をいっしょに歌いましょうの会」が開かれることから、我方も積極参加すべく呼び掛けが行われた。

宴たけなわになる中、恒例の校歌斉唱がなされ、畑谷守良監事の中締めを以て来年の再会を期し、8時30分お開きとなった。

(新11回生　横田英司)

■「晩翠校歌を歌う会」参加出演

第5回「土井晩翠先生が作詞した校歌をいっしょに歌いましょうの会」が10月17日13時より仙台市立立町小学校体育館で開かれた。この日の参加は16団体で、約三百名の出演者観客の入場であった。

この会は平成14年、晩翠没後50年の記念行事として第1回が催され、原則隔年毎に開かれているが、仙台石桜同窓会では第3回目に初めて参加。今回が3度目の出演となる。特に節目の回であることから、出来るだけ多くの出演者を目標に本部石桜会の来演をも呼び掛けた。幸い盛岡からは7名の有志が駆けつけ、仙台勢8名と心を合せて高らかに校歌を熱唱し、石桜の心意気を示した。出演者は次の各氏

盛岡　田中義男(新8回)、小枝指博、赤澤征夫、山口祐定、久慈泰、磯崎公一、小林泰宏(以上新9回)、

仙台　小林陵二(新3回)、畑谷守良(新5回)、小野寺祥一、吉田亨、横田英司(以上新11回)、里見一栄(新13回)、藤根弘康(新17回)、村上説夫(新18回)

(新11回生　横田英司)

■雫石同窓会

3月11日(木)午後6時30分雫石公民館にて開催。

総会は藤村正彦(新16回生)氏の司会進行で始まり、すべての議案を提案どおり可決し、懇親会は終始なごやかに楽しいひと時をすごしました。

OB通信

■菊池治雄先生ご勇退記念演奏会開催

平成22年8月28日、盛岡市文化ホールにて第29回定期演奏会と同時に、菊池治雄先生ご勇退を記念し演奏会を開催いたしました。

昭和40年より岩手中・高等学校音楽家教諭として奉職。吹奏楽部の顧問として長きにわたり部を指導され、全日本吹奏楽コンクール東北大会に9回出場、マーチングバンド・バトントワーリング全国大会に2度の出場を果たされました。平成11年より校長に就任後、部への直接指導はされなくなったものの、定期演奏会では毎年指揮をされ、その度に非常に暖かい言葉で的確にアドバイスをして頂きました。

演奏会には群馬交響楽団の下館廣起君(新21回)も駆けつけ、吹奏楽OB会佐藤会長の挨拶の後、菊池先生が指揮しホルスト作曲第1組曲　全楽章を演奏しました。

演奏後、現吹奏楽部鈴木部長から花束の贈呈が行なわれ、この春をもって退職されましたが、先生のご指導の下に歴代の卒業生が集い、盛大な演奏会となりました。

■第二回目となる三田循司展「今日も明けた美しい空」開催

平成22年6月10日から8月20日まで、もりおか啄木・賢治青春館にて開催されました。

昨年、北上市の日本現代詩歌文学館で開催され、今回で2回目の展示公開となりました。

今回は、親交が深かった太宰治や宮沢清六が三田宛に送った書簡、三田の弟に宛てた高村光太郎の書簡(全集未収録)を盛岡で初公開しました。

■アツモリソウ新品種「ルビーイワテ」英国王立園芸協会に品種登録

岩手県環境保健研究センター主任専門研究員の小山田智彰さんは15年かけて試験研究を重ねアツモリソウ新品種「ルビーイワテ」を開発し、英国王立園芸協会に品種が登録されました。

同協会は園芸界の世界的な権威であり審査はなかなか厳しく、登録は研究者の憧れでもある。

「ルビーイワテ」は岩手産アツモリソウと外国アツモリソウ属品種の交配種を親に、さらに岩手産と交配。

二〇〇五年から試験を始め、〇八年に開花を確認して、子孫に異変が出ないことも確認し、今年(二〇一〇)3月に英国王立園芸協会に登録申請し、新品種として認められ、リンネ学会フェローの大槻葉子さんのはからいで「岩手小町」(栽培品種名)と命名された。

「ルビーイワテ」の特徴は一株から花が15個位咲くことです。

今回の「ルビーイワテ」の英国王立園芸協会への登録は2回目で小山田　智彰さん単独の登録です。

■中村光紀氏「美の祝祭」を出版

中村光紀氏(第10回)が、文化事業への情熱を綴った「美の祝祭」を出版しました。

岩手日報社勤務時や、現在のもりおか啄木・賢治青春館の館長へ至るまで、長く美術や作家との交流に対する熱い思いやエピソードが記されています。

当時、大規模な美術展の開催は岩手県民会館が主でありました。同館が開館した一九七三年から美術展関連に携わり、これまで数々の展覧会開催に一役を担ってきました。

表彰

次の方々が表彰されました。

おめでとうございます。

川村　武雄氏(旧9回)
瑞宝双光章

藤澤　昇氏(新18回)
瑞宝単光章

菊池　治雄氏(新10回)
瑞宝小綬章

西村　紀昭氏(新11回)
盛岡市勢振興功労

佐々木　久夫氏(新19回)
警察庁長官感謝状

佐々川　恵氏(新11回)
瑞宝双光章

クラブOB会

■卓球部OB会(球友会)

岩手高校卓球部OB会(球友会)は、今年も恒例の新年会(1月3日)と還暦祝(今年は21回生下川原仁君)兼納涼会の年2回行いました。いつも25人前後の参加者の和気あいあいの楽しい宴です。今年は、顧問の鈴木勝彦先生の褒章受章のお祝いもOB会員(太田政幸君22回生)が勤務しているホテルニューウインで盛大に行いました。

ほとんどの参加者は、高校を卒業して40年以上経っているのに、母校の岩手高校のことを忘れることはなく、楽しい思い出の会になっております。無縁社会がNHKで特集を組まれる時代の今こそ、人と人との絆が大切ではないでしょうか。この同窓会報を読んだ卓球部OB諸氏(中途退部の方も可)の参加を歓迎します。

(新20回生　松村　諭)

■吹奏楽部OB会

吹奏楽部OB会は、平成21年4月、新生OB会として再出発した。そして年が明け、平成22年3月、それは突然のことだった。吹奏楽部の顧問だった、菊地治雄校長先生の御勇退の知らせが届いたのだ。そこで、急きょOB役員会にて対応を練り、6月のOB会総会にて今年度のOB会は「治雄先生に捧げる活動を行う」という目標を立てた。

具体的には「ホップ・ステップ・ジャンプ」の如し。まずはホップ、総会後の懇親会にて、まずは先生の労を軽く(?)ねぎらうこと。ステップとして、現役部員と現顧問の永田先生のご協力を仰ぎ、8月の定期演奏会にOBバンドの出演を依頼、治雄先生の指揮のもと1曲、演奏を披露すること。そして最後のジャンプとしては、12月に「御勇退を祝う会」の開催。以上の計画を立てた。そして、これらの計画は、全て成功させ、なんと「御勇退を祝う会」では、治雄先生の「瑞宝小綬章」の受章祝いを兼ねることもでき、まさしく今年一年は、新生OB会にとって「治雄Year(年)」となった。

しかし、今後のOB会活動については、気を引き締めなければならないと感じている。なぜならば、吹奏楽部の歴史は、治雄先生の存在があったからこそ、輝かしい業績を積み上げてきたと言っても過言ではない。その治雄先生が母校から去ったということは、今後の吹奏楽部の活動に、何らかの影響があると推測されるのである。例えば、吹奏楽部の予算削減とか……。

そこで、吹奏楽部の活動を維持、発展させていくためにも、新生OB会としては、「OBのためのOB会活動」だけではなく、「現役部員のためのOB会活動へ」とシフトしていくことが、重要となると考えている。そのためにも現顧問の永田先生、八重樫先生との連携や現役部員との交流活動も今後の検討課題となるであろう。OB一人一人が何を成すべきかを考えることが現在のOB会の課題である。一度、自然消滅したOB会。もう二度と消滅させないためにも、新生OB会の活動について、OB一同の合意形成を得ることも必要と感じている。

最後に、菊地治雄先生、長い間、本当にお疲れ様でした。そして、今後もOB会の顧問として、引き続きご指導のほど、よろしくお願いいたします。

(新35回　折本　久)

■「柔桜会」近況

柔桜会役員改選後、平成21・22年度の新しい運営を任せられてから数回の役員打合わせ会のあと、規約に則り、2年に1度の総会を10月29日(金)・三寿司本店にて32名の参加をみて開催しました。参加者の方々には、数々の質疑、意見から今後の活動に大きな示唆を与えて頂き、盛大且つ有意義に終了させて頂きました。役員一同深く感謝致します。

本規約による柔桜会の活動主旨は、①会員相互の親睦と融和を図る。②母校柔道部の発展に寄与する。この2項目であります。

現在の母校柔道部は、ベテランの松田圭二教諭と新鋭の石川喜寛教諭と2名の恵まれた指導陣で運営しております。一方、現在の部員数は、中一なし、中二・三年各1名、高一・3名、高二・9名、高三・1名の合計15名。

大会には、年間20回程出場しております。好成績を残すには、より多くの部員数がほしく、先輩方のご助力にも期待しております。

総会のしめは、母校応援団所属の経歴をもつ池澤副会長のリードで、往時さながらの蛮声高しと歌いあげた直後のざわめきの中から、「懐しかったなぁ」「あすからの元気をもらった」「やっぱり母校校歌はジーンとくるなあ」などの声が聞こえた。役員一同は「この声で大成功」を信じた。母校柔道部並びに会員相互の存在感や絆の重みをズッシリと感じさせられ、あすからの皆様の益々のご壮健とご発展を念じながら役員一同、家路に向かいました。

※11月30日16時から母校柔道部参観を予定しております。役員全員参観します。

(文責・佐々木)

(最終役員一覧表)

顧問・東根清蔵(旧12回生)
会長・佐々木敦(新7回生)
副会長・片岡充(新8回生)
副会長・池澤義顕(新9回生)
事務局長・松田圭二(部監督)
事務局次長・石川喜寛(部監督)
幹事長・佐藤正俊(新14回生)
幹事・柴内紘一(新11回生)
幹事・中里行雄(新11回生)
幹事・井上　務(新11回生)

■アイスホッケー部OB会

十一月十四日、本町通りのきのえね支店において、岩高アイスホッケー部OB会をおこなった。ホッケー部顧問の先生を含め十五～六名の参加ではあったが、色々な話に盛り上がった。

OB会も面白いもので、OBそれぞれにその時代の雰囲気を宿している。確かに世代の違いはある。がOBそれぞれに云えることは、その環境の違いはあれ、ある時期氷上で格闘をしていたということでもある。つまり、防具の違い、アウトドアーとインドアーの違い等々あるにはあるが、青春の一頁がアイスホッケーであったのである。現在の立場を越えて色々語り合う、それはそれでOB会のよさであるのかもしれない。

とはいえ、思い出ばかりにふけっているわけにもいかない。そこで、部費の少ない現役岩高アイスホッケー部を、金銭的に支援しようということでアイスホッケー部OBの方々に寄付を頂き、それなりに部活動の支援もしてきた。むろん現役のアイスホッケー部が強くなることは、OBにとって嬉しいことではある、がメンバーが足らず活動ができなくなり、廃部という憂き目をみることは最もつらいものがある。いずれ、その辺の浮き沈みはどこのクラブにもあることであり、長い目で見ていただきたい。

今後とも現役岩高アイスホッケー部の活動支援と、そのOBの親睦を深め、さらにはその延長で我が母校である岩高のさらなる活躍と、そのOB会組織である石桜会活動も活発になるよう願うものであります。

(新18回　日野岳唯照)